

令和7年度 第1回 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金実施計画

No.	推奨事業メニュー	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期	事業終期
1	⑧地域公共交通・物流や地域観光業等に対する支援	貨物運送事業者運行支援補助金(臨時交付金)	①燃料価格の高騰に対応するため、市内の貨物運送事業者に対し、1台あたり定額の補助金を交付しようとするもの。 ②補助金 ③21,000円/台×1,185台 ④物価高の影響を受ける市内貨物運送事業者	R7.4	R7.7
2	⑦中小企業等に対するエネルギー価格高騰対策支援	省力化・省エネ設備投資応援事業(臨時交付金)	①短期的なコスト補助ではなく、設備投資による資本整備率向上のための支援を行うことで、地域企業が短期の対応にとどまらず、中長期視点で、物価高・エネルギー価格高騰や人手不足等の市内企業が抱える本質課題に対応するための支援を行うもの。市内中小企業が国の補助金を活用し、省力化・省エネ化を目的とした設備投資を行うことに対して補助金を交付するもの。 ②補助金 ③1,000,000円×20件 ④物価高騰の影響を受ける市内中小企業	R7.4	R8.3
3	⑧地域公共交通・物流や地域観光業等に対する支援	公共交通燃料価格高騰対策支援金(臨時交付金)	①燃料価格高騰の影響を受ける交通事業者に対し、運航体制の維持・確保のため、物価高騰の影響を緩和する支援金を交付するもの。 ②補助金 ③バス 34,000円×90台 タクシー 12,000円×170台 ④物価高騰の影響を受ける市内に本店・営業所をもつバス事業者6社/タクシー事業者11社	R7.4	R7.8
4	⑥農林水産業における物価高騰対策支援	畜産農家経営継続支援事業給付金(臨時交付金)	①畜産経営に不可欠な飼料費、光熱水費、資材費等の増加コストの一部を補填する形で給付することにより物価高騰の影響を受ける農家の経営継続を支援する。 ②補助金 ③肉用牛(7カ月齢以上)12,000円/頭×1,314頭、乳用牛(7カ月齢以上)15,000円/頭×64頭、乳用牛(6カ月齢以下)5,000円/頭×28頭、通信運搬費 110円/通×73.経営体×3回=24,090円 ④市内肉用牛生産農家及び酪農家(73経営体)	R7.7	R7.8
5	③消費下支え等を通じた生活者支援	にぎわい回復事業実施補助金(臨時交付金)	①消費者喚起を通じて、物価高騰の影響を受ける商業、サービス業事業者を支援する。 ②補助金 ③1団体1,500千円×7団体 ④商店街振興組合及び連合会5団体、事業協同組合及びテナント会2団体	R7.7	R8.3
6	⑦中小企業等に対するエネルギー価格高騰対策支援	生産性サポート事業(臨時交付金)	①物価高騰や人件費増の影響を受ける市内中小企業のデジタル化や省力化、付加価値向上等の「生産性向上」に資する取組みに対して補助金を交付することで、企業活動の維持・発展につなげる ②補助金 ③補助金平均額400千円×5件 ④市内中小企業	R7.7	R8.1
7	⑧地域公共交通・物流や地域観光業等に対する支援	ライドシェア導入支援事業補助金(臨時交付金)	①市内においては17時～翌8時台のタクシー不足が顕著であったところ、県内で2例目の日本版ライドシェアの許可が出され、市内タクシー事業者が今後運行を開始する予定であり、地域に不可欠な交通手段の確保を行う事業者に対して、安定的に運用されるよう導入経費の支援を行うもの。 ②補助金 ③システム導入費・ペイメントサービス登録料金・ウインドサイン・行灯カバー・ライドシェア対応コールセンター費用計2,432千円×1/2 ④市内の日本版ライドシェア導入事業者	R7.8	R8.3